

平成 27 年度ガンカモ類の生息調査の実施結果について

ガン類、カモ類及びハクチョウ類のガンカモ類は、冬期にシベリア、アラスカ、千島方面から我が国に渡来する代表的な冬鳥です。県では、ガンカモ類の冬期における生息状況を明らかにし、鳥獣保護行政に必要な資料とするため生息調査を実施しており、このたび調査結果を取りまとめましたのでお知らせします。

なお、この調査は昭和 44 年度以降毎年 1 月中旬に全国一斉に行われており、今年度で 47 回目です。

1 調査日

平成 28 年 1 月 5 日(火)～17 日(日)

2 調査内容及び方法

環境農政局水・緑部自然環境保全課、各地域県政総合センター及び自然環境保全センターの職員並びに鳥獣保護管理員等が、県内各地に渡来しているガンカモ類について種ごとの個体数をカウントした。調査に当たっては、双眼鏡、望遠鏡及び数取器を使用した。

3 調査地点数及び面積

県内の 264 箇所(継続 256 箇所、新規 8 箇所)、約 5,205ha について調査を実施した。うちガンカモ類が観察されたのは、188 箇所であった。

4 調査人員

100 人(実人員)

5 個体数の状況

(1) 観察された種と数 ※ () 内は、前年度調査の結果。以下同じ。

カモ類 14 種 13,903 羽 (カモ類 14 種 10,324 羽) 前年比 3,579 羽増

ガン類 1 種 9 羽 (ガン類 未観察) 前年比 9 羽増

ハクチョウ類 未観察 (ハクチョウ類 6 羽) 前年比 6 羽減

<過去 5 年間の個体数の推移>

- 平成 26 年度 15 種 10,330 羽
- 平成 25 年度 14 種 12,042 羽
- 平成 24 年度 14 種 10,378 羽
- 平成 23 年度 16 種 12,011 羽
- 平成 22 年度 14 種 12,108 羽

(2) 個体数の多かった種

スズガモ	2,891 羽 (142 羽)
カルガモ	1,892 羽 (1,859 羽)
キンクロハジロ	1,668 羽 (1,329 羽)
オシドリ	1,665 羽 (477 羽)
ヒドリガモ	1,643 羽 (2,036 羽)
ユガモ	1,414 羽 (1,914 羽)
マガモ	1,295 羽 (788 羽)
ホシハジロ	723 羽 (598 羽)
オナガガモ	461 羽 (725 羽)

その他

クロガモ 92 羽、ハシビロガモ 62 羽、カワアイサ 40 羽、オカヨシガモ 32 羽
マガン 9 羽、ホオジロガモ 1 羽、カモ類種類不明 24 羽

(3) 個体数の多かった調査地点 (500 羽以上)

海の公園 (横浜市金沢区)	1 種	1,805 羽 (未観察)
宮ヶ瀬湖 (相模原市・清川村)	3 種	1,212 羽 (4 種 269 羽)
平潟湾 (横浜市金沢区)	4 種	1,013 羽 (3 種 152 羽)
津久井湖 (相模原市)	5 種	527 羽 (4 種 242 羽)
多摩川一殿町 (川崎市川崎区)	4 種	501 羽 (4 種 647 羽)

(4) 主要河川及び湖沼の個体数

多摩川 (川崎市)	9 種	1,829 羽 (9 種 2,674 羽)
宮ヶ瀬湖 (相模原市・清川村)	3 種	1,212 羽 (4 種 269 羽)
相模川 (相模原市～平塚市)	5 種	776 羽 (8 種 780 羽)
津久井湖 (相模原市)	5 種	527 羽 (4 種 242 羽)
相模原沈澱池 (相模原市)	8 種	394 羽 (10 種 260 羽)
相模湖 (相模原市)	5 種	380 羽 (4 種 282 羽)
鶴見川 (横浜市)	7 種	322 羽 (7 種 349 羽)
酒匂川 (山北町～小田原市)	6 種	306 羽 (7 種 374 羽)
丹沢湖 (山北町)	5 種	277 羽 (4 種 117 羽)
芦ノ湖 (箱根町)	7 種	164 羽 (6 種 116 羽)

(5) 自然環境保全課及び各地域県政総合センター別集計

別表のとおり

問い合わせ先

神奈川県環境農政局水・緑部自然環境保全課

課長 椎野

電話 (045)210-4301 (直通)

野生生物グループ 木部

電話 (045)210-4319 (直通)